

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 實用新案出願公開
 ⑪ 公開実用新案公報 (U) 昭58-3931

⑤Int. Cl.³
 B 01 D 53/22
 F 16 J 15/06

識別記号 行内整理番号
 7917-4D
 7712-3J

④公開 昭和58年(1983)1月11日

審査請求 有

(全 2 頁)

⑥ガスケット

⑦実願 昭56-97083

⑧出願 昭56(1981)6月30日

⑨考案者 高宮真市
 東京都足立区千住5丁目30番3

号新高理化工業株式会社内

⑩出願人 新高理化工業株式会社

東京都足立区千住5丁目30番3
 号

⑪代理人 弁理士 磯野道造

⑫実用新案登録請求の範囲

ろ過膜、イオン交換膜等適宜の膜の張着用孔が穿設され、かつ、上面と底面とが断面コ字型に一体形成されてなり、該上面と底面との間に上記膜を挿着しうるようにしたことを特徴とするガスケット。

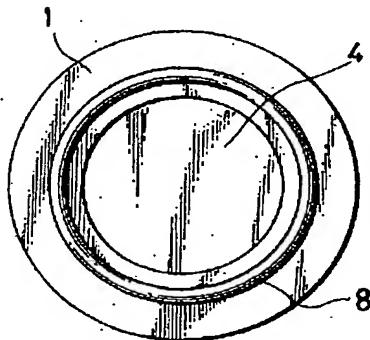
図面の簡単な説明

第1図は本考案を実施したガスケットの平面図、

第2図はその斜視図、第4図はその横断面図、第3図は、本考案を実施したガスケットにろ過膜を張着した状態の斜視図、第6図はその拡大横断面図、第5図はその使用状態を示す斜視図である。

1…上面、2…底面、3…側壁、4…ろ過膜等
 適宜の膜の張着用孔、5…ろ過膜、6…ロート、
 7…環状突起、8…環状隆起。

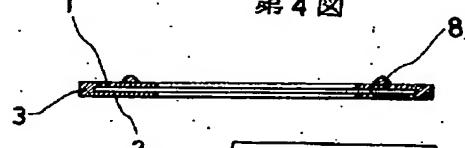
第1図



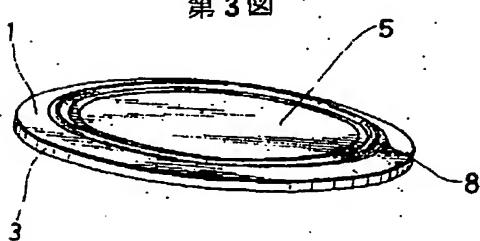
第2図



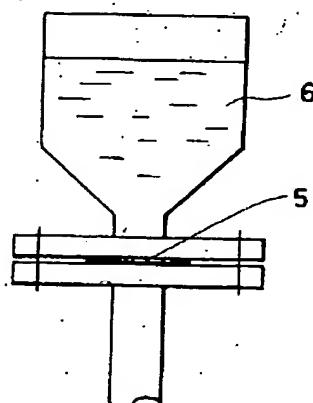
第4図



第3図



第5図



公開実用 昭和 58— 3931



実用新案登録願

昭和 58 年 6 月 30 日

特許庁長官殿

1. 願人の名称

ガスケット

2. 考案者

フリガナ 住 所 東京都足立区千住 5 丁目 30 番 3 号
氏 名 新高理化工業株式会社内
高 富 真 市

(外名)

3. 実用新案登録出願人

フリガナ 住 所 東京都足立区千住 5 丁目 30 番 3 号
(所在地) 氏 名 新高理化工業株式会社
高 富 真 市
(代表者) (外名)
(同籍) 代表者 高 富 真 市

(外名)

4. 代理人

住 所 〒 101 東京都千代田区東神田 2 丁目 1 番 11 号
氏 名 第 6441 号 弁理士 磯 野 道 造

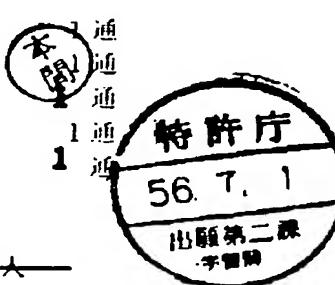


電話東京 (03) 863-5855 (代表) ~ 7-866-9320
866-1638

5. 添付書類の目録

- (1) 明細書
- (2) 図面
- (3) 委任状
- (4) 願書副本
- (5) 出願審査請求書

参考
書類



6. 前記以外の書類書、実用新案登録出願人または代理人

3931 346
56 097083 /

BEST AVAILABLE COPY

明細書

1. 考案の名称

ガスケット

2. 實用新案登録請求の範囲

ろ過膜、イオン交換膜等適宜の膜の張着用孔が穿設され、かつ、上面と底面とが断面コ字型に一体形成されてなり、該上面と底面との間に上記膜を挿着しうるようとしたことを特徴とするガスケット。

3. 考案の詳細な説明

本考案は漏れがなくシール性能の良好なガスケットに関する。

薬品・化学品・特殊気体等をろ過あるいは流出入させる場合等においては、何よりろ過部分や継手部分より外部への漏洩がないことが要求される。

従来は、ガスケットとろ過膜等を重ねたり、ガスケットとガスケットとの間にろ過膜を挿んだ後に、Oリング等を使用してシールしている。しかし、これでは完全にシールすることは不可

(1)

3951

347

能であり、極く少量であつても外部に漏れでは困るもの例えば毒性の強い化学品・薬品、放射性の液体又は気体等のろ過等に使用するガスケットとしては充分なものとはいえなかつた。そこで、本考案は上面と底面とが断面コ字型に一体形成され、該上面と底面との間にろ過膜等を接着しうるようにして、上記特審を除去するとともに、多目的に使用可能なガスケットを提供するものである。以下本考案の一実施例を図面に基づいて説明する。第1図は本考案を実施したガスケットの平面図、第2図はその斜視図、第4図はその横断面図である。ガスケットは、上面1、底面2、側壁3とろ過等適宜の膜の張着用孔4より成る。

上面1と底面2は側壁3を介して断面コ字型に一体形成され、その内方にはろ過膜等適宜の膜の張着用孔4が穿設されている。上面1及び底面2の幅、張着用孔4の大きさ等は使用する箇所、膜等に応じて適宜選択すれば良い。その材質は特に規定はなく、各種樹脂・金属等より

(2)

選択すれば良い。また、その加工方法は射出成形、施塗加工等でよいが特に限定はなく、数量材質に応じた方法をとれば良い。次に上記ガスケットの上面と底面との間にろ過膜5等を接着し、第3図のようにする。接着する膜はろ過膜に限らずイオン交換膜等接着可能なものであればどのようなものであつても良い。なお、ガスケット製作後にろ過膜5等を接着するのではなく、その製作時にろ過膜等を一体として組み込み、使い捨てのガスケットとしても良い。使用に際しては、ろ過膜5等を張着したガスケットをその使用箇所に張着する。第5図はその使用状態の一例を示すものであり、ロート6内の液体をろ過するものである。すなわち、第6図の拡大断面図に示す様にろ過膜5の張着されたガスケットはフランジ等により、上面1と底面2が密着するようにして張着されている。また、シール性能を高めるために、ガスケットの上面1と底面2との間に環状突起7を第6図に示す如く所望数設けてもよい。さらに、上面1ある

(5)

349

いは底面 2 の外側には、装着される箇所の形状に応じて環状隆起 8 を第 2 図に示す如く突設しても良い。

以上の構成のガスケットによればろ過膜 5 等が断面コ字型に一体形成されたガスケットに密着した状態で挿着されるため、外部への漏れのないシールが可能である。また、このガスケットの形状を利用して個々の完成されたフィルターとしての利用も可能であり、その用途に応じて多目的に使用できるものである。

4 図面の簡単な説明

第 1 図は本考案を実施したガスケットの平面図、第 2 図はその斜視図、第 4 図はその横断面図、第 3 図は、本考案を実施したガスケットにろ過膜を張着した状態の斜視図、第 6 図はその拡大横断面図、第 5 図はその使用状態を示す斜視図である。

1 … 上面	2 … 底面
3 … 箇所	4 … ろ過膜等適宜の膜の張着用孔
5 … ろ過膜	6 … ロート

(4)



7 … 痕状突起

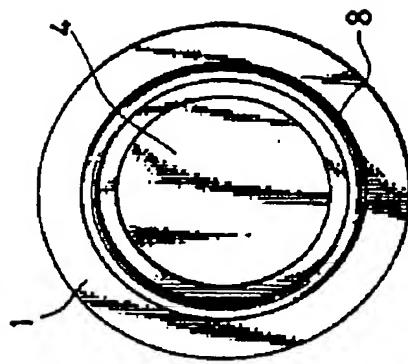
8 … 痕状隆起

实用新案登録出願人 新高理化工業株式会社
代理人 弁理士 碩野道造

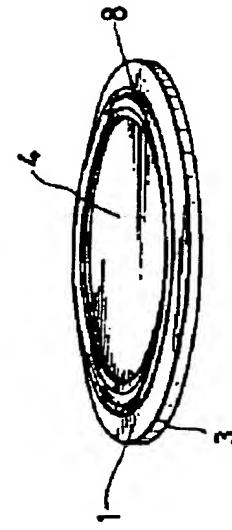
(5)

351

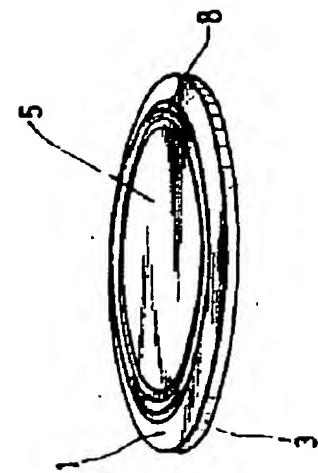
第1図



第2図

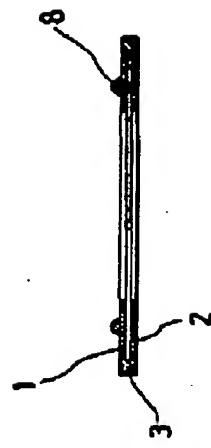


第3図

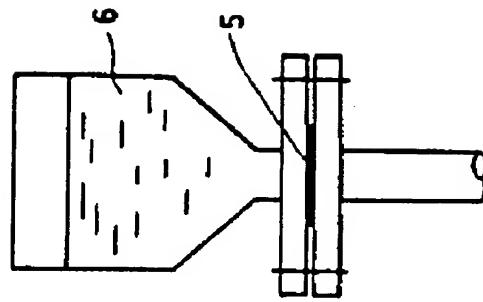


実用新案登録出願人 新協理化工業株式会社
代理人 ホリ士 田 道 道
352

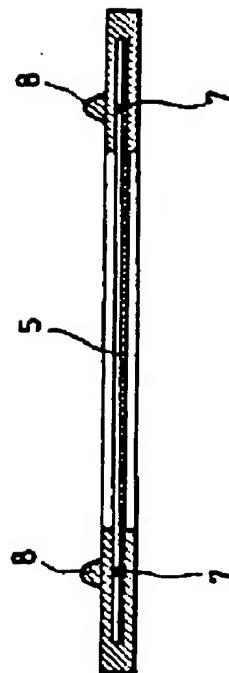
四
第



四
5
第



四
第6



新野道道工株式会社
代理人弁理士
安田新太郎以出頭人

۲۷۰